2018
4.1

大阪市営

地下鉄・バスが変わります！

大阪市交通局

2018年4月1日

大阪市営地下鉄は
大阪市高速電気軌道(株)に。

民営化の目的

走り続けるために 変わります

私たちは、最高の安全・安心を追求し、誠実さとチャレンジ精神をもって、
大阪から元気を創りつづけます。

民間でできることは民間に

地下鉄事業の民営化

POINT 1 スピーディなサービス改善 → お客さま満足度の向上

●これまでも、運賃の値下げ、トイレの美装化、終発延長、駅ナカ・売店のリニューアルなどのサービス改革に取り組んできました。民営化後は公営の制約がなくなり、みずからの判断と責任の下で、ニーズを機敏に捉え、スピード感をもってお客さまに実感いただけるサービスを展開していきます。

POINT 2 多様な事業展開 → 沿線・地域の活性化への貢献

●鉄道の枠を超えた「不動産事業・ホテル」、「高齢者・子育て支援事業」などを展開し、新たな収益の柱に育て、鉄道事業の持続・発展につなげるとともに、沿線・地域の活性化に貢献します。
●大阪の地下をブラッシュアップし、快適な地下空間の創出・地下のまちの魅力アップに貢献します。また、グループ会社である大阪地下街(株)との連携により、地下の防災面の強化や、営業面でもシナジー効果(相乗効果)を発揮します。

POINT 3 経営体質の強化 → 効率的な事業経営による収支改善

●経営力の強化により、新たな安全施策・サービス投資資金を確保します。
●地下鉄新会社から大阪市への納税・配当により、年間約100億円(民営化10年目の試算)の財政貢献を果たします。

市民・お客さまのための民営化

2018年4月1日

大阪市営バスは
大阪シティバス(株)に。

民営化の目的

変わるけど 変わらない

市民・お客さまに必要な路線・サービスを、
将来に亘り持続的・安定的に提供することが目的です。

乗車人員が減少傾向にあり、今後も人口減少が見込まれることから、
経営効率に優れた大阪シティバス(株)に運営を委ねることで、
必要なバスサービスを将来に亘り確保します。

バス事業のこれから

路線の維持とサービス向上

●大阪市と大阪シティバス(株)が協議・調整しながら
必要な路線の維持とより良いサービス提供をめざし、継続して取り組んでいきます。
●必要な路線は、現在と同様に大阪市からの補助制度により維持していきます。
●民間事業者として、自立性や成長性を高める中でサービスの向上が期待できます。

安全確保

「安全はすべてに優先する」という方針のもと、経営判断の最優先課題として
取り組みます。

“民営化”で どうなるの？

サービス&改革

乗車券について

2018年4月1日以降も
現在お持ちの乗車券は引き続きご利用いただけます。

>>> 乗車券の交換や払戻しといった手続きは必要ありません。

※レインボーカードは、2018年1月31日をもちまして利用を終了いたします。
お持ちのレインボーカードは未使用残額を手数料なしで払戻しいたします。くわしくは大阪市交通局ホームページをご覧ください。

各種割引について

2018年4月1日以降も現在と変わりませんので、
引き続きご利用いただけます。

【主な割引】
- ◆地下鉄とバスの乗継割引
- ◆PiTaPaフリースタイル、マイスタイル、プレミアム（2018年3月31日で期限が切れるものを除き再登録は不要です）
- ◆1日乗車券「エンジョイエコカード」、回数カードなど

>>> 他の鉄道事業者と連携を図り、**ICカードの普及拡大**に取り組みます。

トイレのリニューアルについて

「トイレを快適にしてほしい」
というお客さまの声にお応えします。

暗い、汚い、臭いという
駅トイレのマイナスイメージを払拭し、
明るく清涼感あふれる快適空間を実感して
いただけるトイレに順次リニューアルを
実施しています。

※2017年3月末時点108駅114箇所実施済み

リニューアルしたトイレの外観

男子トイレ内

女子トイレ内パウダーコーナー

安全・安心への取組み

ホーム上の安全対策に関する取組み

可動式ホーム柵の整備
- ◆ 谷町線東梅田駅と堺筋線堺筋本町駅に設置します。（2019年度中に設置予定）
- ◆ 御堂筋線全駅設置をめざし、課題解決の検討を進めます。

ホームにおける見守りの強化

視覚に障がいがある方に対しては、これまで全駅が有人駅であるという利点を活かしてサポートを行ってきましたが、2017年4月からサポートを希望されない方にもできる限り見守りを強化し、さらに乗降者数が10万人以上の駅及び視覚に障がいのある方のご利用が多い駅、合わせて11駅では、駅業務補助要員を配置するなどして、トランシーバー・インカム等を活用し、見守り体制を強化しています。

1 「お手伝いしましょうか」など声をおかけする

2 サポートを希望されない場合も、ホームの駅職員に連絡

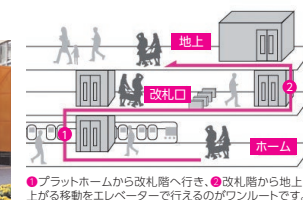
3 連絡を受けたホームの駅職員が見守りに向かう

4 乗車されるまで見守りを行う

バリアフリーに対する取組み

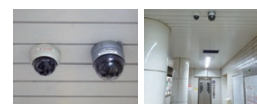
バリアフリー施策については、これまで「ひとにやさしい地下鉄」として先進的に取り組んできました。民営化後においても、これまで果たしてきた役割を「企業理念」の根本として継承していきます。

ワンルート確保によるバリアフリーの推進

地下鉄・ニュートラム全駅において、ホームから地上までエレベーターで移動いただけるワンルートの整備を完了しました。また、地下鉄間の乗り換え経路のエレベーターについても整備を完了しました。
現在は、お客さまのご利用が多く、エレベーターの設置場所により非常にご不便をおかけしている駅について、一定の条件のもと経路改善となる新たなエレベーターの整備を行っています。

❶プラットホームから改札階へ行き、❷改札階から地上へ上がる移動をエレベーターで行えるのがワンルートです。

防犯対策について

安心して地下鉄をご利用いただくため、徹底した防犯対策に取り組んでいます。

防犯カメラの増設

◆駅構内、エレベーター内に増設予定

車内 防犯カメラの設置

◆2018年度に試験導入予定

駅構内 ガードマン等の配置

民営化のギモン

1 民営化でサービスは良くなるのでしょうか?

お客さまに満足していただけるよう取り組みます。

スピーディなサービス改善でお客さまに満足していただけるように努めてまいります。また、大阪市高速電気軌道㈱と大阪シティバス㈱はグループ企業として連携を図り、お客さまの利便性が低下しないよう取り組んでまいります。

2 地下鉄とバスが別会社ですが、地下鉄⇔バスの乗継割引はどうなりますか。

継続します。

これまでと変わらず、地下鉄⇔バスの乗継割引をご利用いただけます。

3 地下鉄の終電が早くなったりしないでしょうか?

引き続き輸送サービスの向上に努めます。

大阪経済の活性化に貢献できるよう引き続き取り組んでまいります。

4 バスの路線が無くなったり、運行本数が急に減ったりしませんか?

原則として少なくとも10年間はサービス水準を維持します。

より良いサービス提供をめざして、取り組んでまいります。

5 バスも地下鉄も安全面は大丈夫でしょうか?

大丈夫です。ご安心ください。

「安全はすべてに優先する」という方針のもと、安心して安全にご利用いただけるよう引き続き取り組んでまいります。

6 トイレはきれいになったのに駅が古くて暗いのですが…。

駅のブラッシュアップにも取り組んでまいります。

魅力的な駅となるよう、駅のリニューアルなどにも取り組んでまいります。

7 駅ナカの店舗や商業施設は充実するのですか?

より満足いただける駅をめざします!

駅ごとの特性やお客さまニーズを捉えた店舗展開などに一層取り組み、利便性向上、賑わいの創出に努めてまいります。

8 利用者の声は聴いてもらえるのですか?

はい。もちろんです。

民営化後もこれまでと変わらず、お客さまの声にしっかりと耳を傾けてまいります。

9 大阪市高速電気軌道㈱って長くて呼びにくいです。

今、愛称を考えています。

ただ今、覚えやすくて呼びやすい愛称を考えています。今しばらくお待ちください。

リーフレットの内容に関してのお問い合わせは下記まで

お問い合わせ先 大阪市交通局 総務部総務課（広報） TEL 06-6585-6831